

平成30年度 盛岡市出資等法人 経営状況調査表

(平成30年4月1日現在)

1 法人の概要

法人名	公益財団法人盛岡地域地場産業振興センター	所管課	ものづくり推進課
所在地	〒020-0055 盛岡市繫字尾入野64-102		
電話番号	(019) 689-2201	設立年月日	昭和59年8月31日
代表者	理事長 谷藤裕明	<input type="checkbox"/> 常勤 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤	<input type="checkbox"/> 市OB <input checked="" type="checkbox"/> 市現職 <input type="checkbox"/> その他
設立目的	盛岡地域の地場産業を振興するための事業を行い、地場産業の育成と強化を図り、公正かつ自由な経済活動の機会の確保と地域住民の生活安定向上及び福祉の増進に寄与する。		
主要事業	① 地場産業振興事業(地場産品紹介普及啓発事業) ② 地場産業振興事業(体験学習事業) ③ 地場産業振興事業(展示資料室運営事業) ④ 人材育成事業		

2 情報公開の状況

法人のホームページの有無	<input checked="" type="checkbox"/> ある (アドレス http://tezukurimura.com/main/)
	<input type="checkbox"/> 作成中・作成計画あり (公開予定時期 平成 年 月) <input type="checkbox"/> 作成予定なし
法人ホームページでの情報の提供内容(作成中の法人においては提供予定内容)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業内容 <input checked="" type="checkbox"/> 財務状況 <input checked="" type="checkbox"/> 役員氏名 <input checked="" type="checkbox"/> その他()
ホームページ以外での情報提供の方法	岩手県商工労働観光部産業経済交流課、盛岡市総務部総務課情報公開室等での情報提供

3 職員構成

(単位:人)

		常勤			非常勤	合計
			うち市OB	うち市派遣		
役員	理事				15	15
	監事				2	2
	計	0	0	0	17	17
職員	管理職	正職員	1	1	0	1
		臨時職員	0	—	—	
	一般職	正職員	6	0	0	12
		臨時職員	6	—	—	
	計	正職員	7	1	0	13
		臨時職員	6	—	—	
前年度と比較して職員数の増減		増 0	減 1	常勤職員の平均年齢	54.4	歳
常勤職員の給与体系						
<input type="checkbox"/> 法人独自の給与体系 <input type="checkbox"/> 市の給与体系を準用 <input checked="" type="checkbox"/> その他(国一部準用)						

4 財政状況等

資本金 (基本財産)	27,370 千円	本市出資等額	10,555 千円	本市出資等割合	38.5 %
主な出資等者					/
① 盛岡市		(出資等割合	38.5 %)		
② 岩手県		(出資等割合	27.4 %)		
③ 業界組合(昭和59年当時 24組合・団体)		(出資等割合	17.7 %)		
④ 関係町村(昭和59年当時 7町4村)		(出資等割合	8.9 %)		
⑤ 商工団体(昭和59年当時 12商工会)		(出資等割合	7.3 %)		
平成30年度における当 市の財的関与の状況	補助金	45,000 千円	(収入全体の	28.8 %)	
	負担金・交付金	475 千円	(収入全体の	0.3 %)	
	委託料	6,724 千円	(収入全体の	4.3 %)	
	指定管理料	0 千円	(収入全体の	%)	
	貸付金	0 千円	(収入全体の	%)	
補助金内訳					
① 平成30年度事業費補助金		(平成30年度予算額	45,000 千円)		
②		(平成30年度予算額	千円)		
③		(平成30年度予算額	千円)		
負担金・交付金内訳					
① 平成30年度地場産業対策事業負担金		(平成30年度予算額	475 千円)		
②		(平成30年度予算額	千円)		
委託料内訳					
① 平成30年度市有施設維持管理業務委託料		(平成30年度予算額	4,602 千円)		
② 盛岡地域ものづくり産業魅力向上事業業務委託料		(平成30年度予算額	2,122 千円)		
指定管理料内訳					
①		(平成30年度予算額	千円)		
②		(平成30年度予算額	千円)		
③		(平成30年度予算額	千円)		
貸付目的	(貸付金がある場合記入)	利用料金対象施設	(利用料金制を採用している施設がある場合記入)		
		利用料金収入(平成30年度予算額	400 千円		
		法人の収入全体の	0.3 %		

5 指定管理者となっている公の施設(現在, 公の施設の指定管理者となっている団体のみ記入)

施設の名称	
-------	--

6 法人の経営内容の詳細

(1) 取組目標

指標名	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度
①展示即売室売上	円	計画	195,430,000	186,190,000	169,320,000
		実績	194,956,110	173,130,025	173,474,799
②体験学習売上	円	計画	22,500,000	22,900,000	21,690,000
		実績	21,717,500	21,431,950	20,522,300
③展示資料室入場料	円	計画	300,000	260,000	272,000
		実績	258,320	257,820	161,360

- ※ 1 中長期計画等を策定している場合、計画に盛り込まれている目標等を記載してください。
- 2 中長期計画等を策定していない法人で、毎年度の目標等を設定している場合は、その目標等を記載してください。
- 3 毎年度の目標等を設定していない場合は、法人の活動が具体的に数値として表れるものを記載してください。

(2) 経営状況

※複数の会計を持つ法人は、合算して記載すること。

(単位:千円, %, 人)

区 分		平成27年度	平成28年度	平成29年度
収支の状況	総収入	174,015	166,037	156,158
	当期収入(A)	169,181	159,554	149,448
	基本財産運用収入	6	6	2
	会費収入(入会金収入を含む)	0	0	0
	補助金等収入	45,000	47,626	45,349
	うち市からの補助金等(B)	45,000	47,253	45,000
	事業収入(C)	124,167	111,155	104,095
	うち自主事業収入	101,300	100,135	96,981
	うち市からの委託料(D)	22,867	11,020	7,114
	うち市からの指定管理料(E)	0	0	0
	繰入金収入	0	0	0
	市からの借入金	0	0	0
	その他の収入	6	766	0
	前期繰越額	4,834	6,483	6,710
	総支出	167,531	159,327	150,717
	当期支出	167,531	159,327	150,717
人件費	64,340	58,296	56,213	
事業費(人件費除く)	95,194	91,086	89,001	
管理費(人件費除く)	3,132	3,009	2,689	
資産取得支出	3,316	4,122	0	
繰入金支出	0	0	0	
その他の支出	1,549	2,813	2,813	

区 分		平成27年度	平成28年度	平成29年度
収支の状況	当期収支差額	1,649	226	▲ 1,268
	次期繰越収支差額	6,484	6,710	5,441
正味財産の状況	経常収益(F)	169,181	159,289	149,448
	経常費用	171,083	160,260	158,057
	当期経常増減額	▲ 1,902	▲ 970	▲ 8,608
	経常外収益	0	0	0
	経常外損益	72	72	72
	当期経常外増減額	▲ 72	▲ 72	▲ 72
財産の状況	資産(G)	640,460	633,695	622,568
	うち固定資産	608,401	603,305	594,252
	うち流動資産(H)	32,058	30,390	28,315
	負債	43,334	37,612	35,166
	うち固定負債	21,243	18,502	15,760
	うち流動負債(I)	22,091	19,110	19,405
	正味財産(J)	597,125	596,082	587,402
	うち当期正味財産増減額	▲ 1,974	▲ 1,042	▲ 8,680
財務指標	流動比率(H/I)	145	159	146
	自己資本比率(J/G)	93	94	94
	職員一人当たり収益高(F/(K+L))	9,952	11,378	11,496
	当期収入に占める市補助金等の割合(B/A)	27	30	30
	事業収入に占める市委託料、指定管理料の割合((D+E)/C)	18	10	7
組織の状況	常勤役員数(K)	0	0	0
	うち本市OB	0	0	0
	うち本市派遣職員	0	0	0
	職員総数(L)	17	14	13
	うち常勤職員数	5	6	7
	うち本市OB	1	1	1
	うち本市派遣職員	0	0	0
	うち管理職員数	1	1	1
	常勤役員比率(常勤役員数/総役員数)			
	管理職員比率	6	7	8
	職員新規採用数	0	1	1
うち常勤職員数	0	1	1	
事業指標	① 総入場者数(人)	435,448	409,081	417,857
	② 展示即売室購買客数(人)	81,238	78,492	74,613
	③ 展示資料室入場者数(人)	2,732	2,821	1,720
	④ 手づくり教室体験者数(人)	15,096	14,866	14,092

区 分		平成27年度	平成28年度	平成29年度
本市の財政的関与等の状況	補助金額	45,000	47,253	45,000
	① 運営費補助金	45,000	45,000	45,000
	② 盛岡手づくり村環境整備補助金	0	1,485	0
	③ 外国人観光客受入体制整備補助金	0	768	0
	負担金・交付金額	574	0	475
	① 地場産業対策事業負担金	475	0	475
	② 盛岡市教育旅行支援事業	99	0	0
	委託金額	22,867	11,020	7,114
	① 市有施設維持管理業務	4,601	4,601	4,992
	② 盛岡特産品ブランド認証制度運營業務	1,768	0	0
	③ 新地場産品開発普及支援事業業務	9,634	0	0
	④ 函館誘客観光プロモーション出店業務	340	355	0
	⑤ 盛岡広域資源新市場開拓事業業務	6,523	6,063	0
	⑥ 盛岡地域ものづくり産業魅力向上事業業務	0	0	2,122
	上記のうち再委託額	3,212	3,288	3,876
	上記業務の委託契約方法	一者随意契約	一者随意契約	一者随意契約
	指定管理料			
①				
②				
③				
貸付金額				
損失補償額				
債務保証額				

平成29年度決算の概要

平成29年度は、展示即売室売上が173,475千円(対前年度比100.2%)、体験学習売上が20,522千円(同95.8%)、展示資料室入場料売上が161千円(同62.6%)となり、総売上が194,158千円(同99.7%)となりました。経常収益は、即売室売上の仕入商品売上割合の低下、体験学習売上の減少及び委託事業にかかる委託料収益の減少等により、事業収益が7,059千円減の104,096千円となったほか、受取補助金等が2,276千円減の45,350千円となったことなどから、9,840千円減の計149,449千円となりました。経常費用は、有人夜間警備の廃止による経費節減を行ったほか、展示即売室の仕入商品売上減少に伴う事業原価の減少や、委託料収益の減少に伴う人件費等委託事業費の減少、除雪費及び光熱水費の増加等により、2,203千円減の計158,057千円となりました。これにより、当期経常増減額は▲8,608千円となり、法人税、住民税及び事業税72千円をあわせた当期一般正味財産増減額は7,637千円減の▲8,680千円、正味財産期末残高は587,402千円となりました。

7 所管課による財務状況についての点検評価結果

C	A:良好, B:概ね良好, C:改善を要する, D:大いに改善を要する
(コメント) POSシステムの導入によるリース債務の返済等が資金繰りを圧迫している状況であり、債務の解消には更に数年を要するが、正職員の定年退職等による人員構成の変化が次年度以降見込まれることから、数年内に収支は改善する見通しである。	

※参考(別紙フローチャートによるチェック)

番号	質問	チェック欄	
		はい	いいえ
1	平成28年度決算において黒字である。		○
2	平成29年度決算において黒字である。		○
3	累積欠損金がある。		○
4	平成29年度決算において減価償却前黒字である。		○
5	事業計画どおりの償却前赤字である。		○
6	概ね3年以内に単年度黒字可能である。	○	
7	累積欠損金があるが、対自己資本比率は50%未満である。	/	/
8	累積欠損金があるが、対自己資本比率は50%～100%である。	/	/
9	累積欠損金があるが、対自己資本比率は100%超である。	/	/

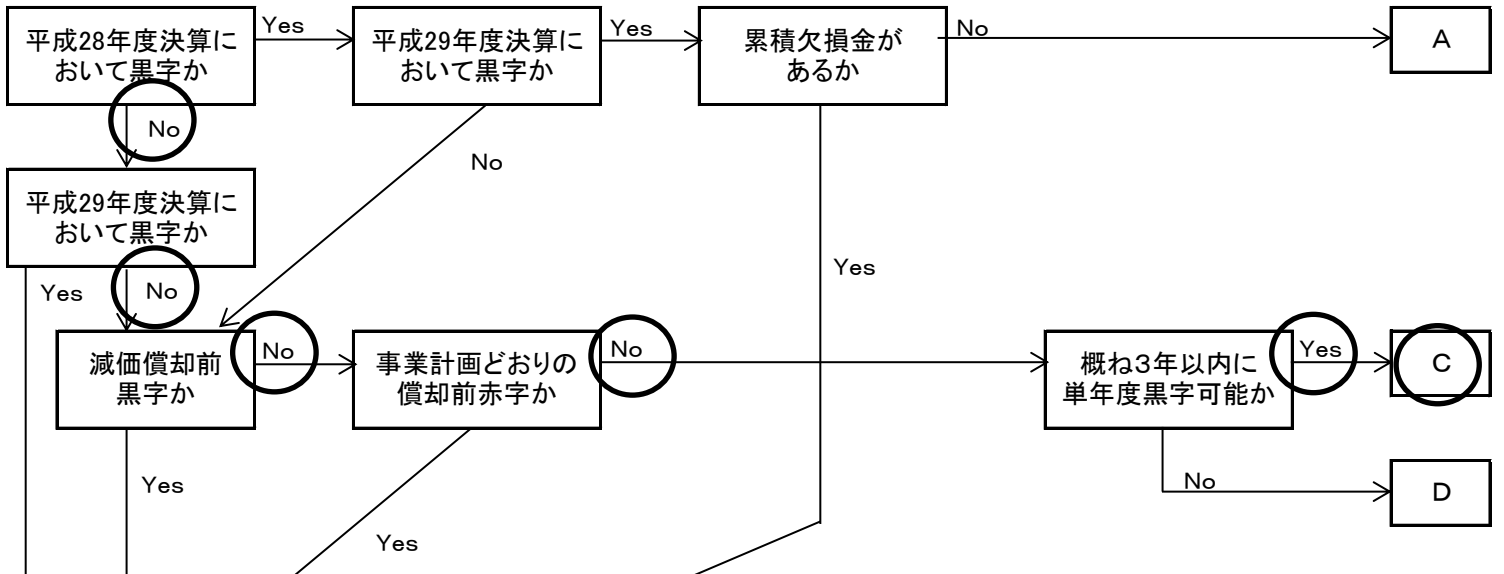
※「累積欠損金」→「正味財産の部合計」

フローチャートによる判定

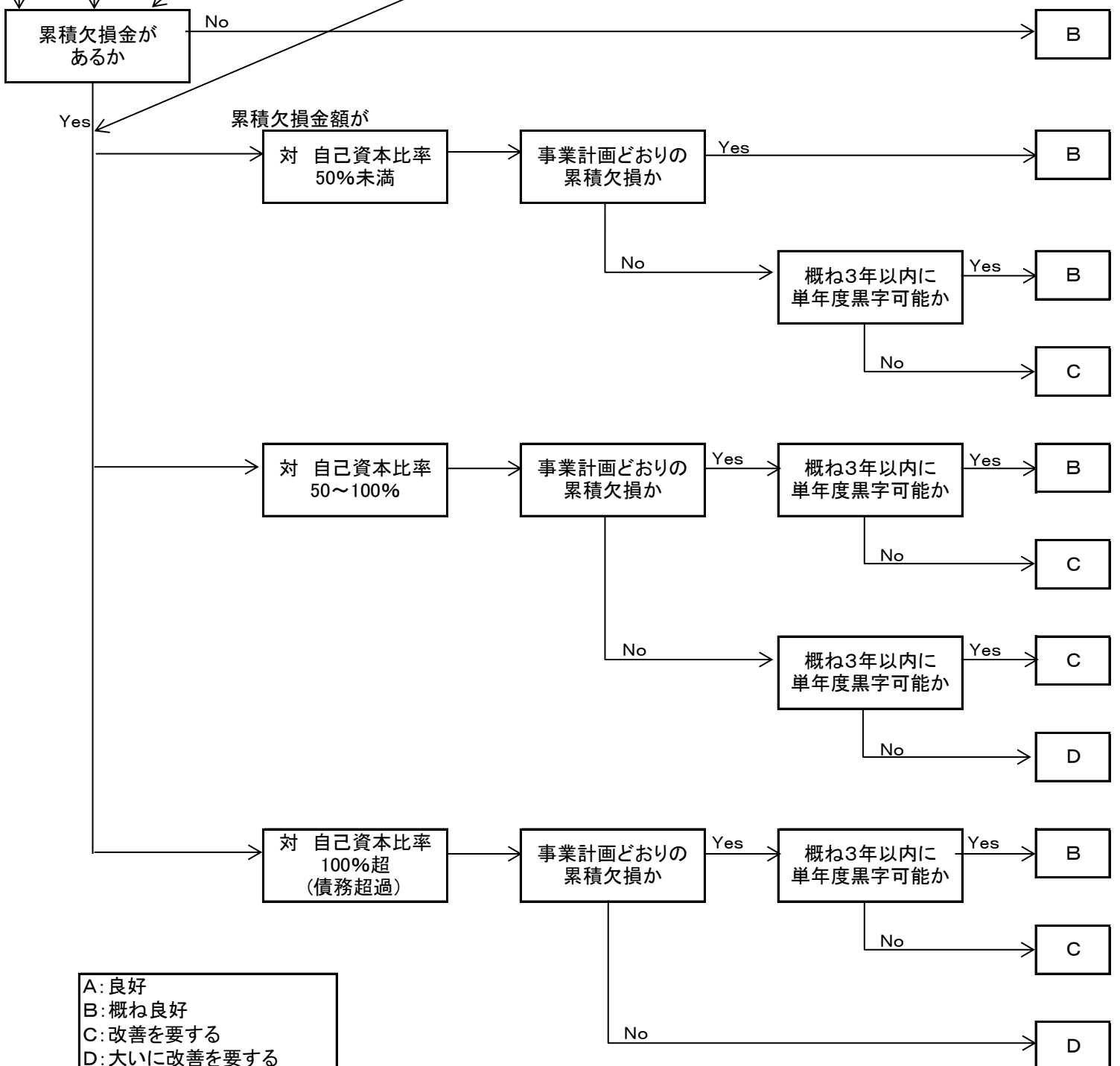
<別紙>

(下記の該当する"Yes", "No"及びA~Dを○で囲むこと。また、判定の根拠についてもコメント欄に併せて記載すること。)

<損益計算書からみて>



<貸借対照表からみて>



- A: 良好
- B: 概ね良好
- C: 改善を要する
- D: 大いに改善を要する